

# 津有区地域協議会だより

地域の皆さんに4年間の活動をお伝えする

## 活動報告会を開催しました



3月6日(水)に「津有区地域協議会活動報告会」を開催し、今期の地域協議会委員の4年間の活動について地域の皆さんに報告しました。

今号の「たより」では、活動報告会の様子と、報告内容の一部を紹介します。

### 報告内容

#### 1 全般

今期の地域協議会委員は令和2年4月に就任し、概ね月1回の地域協議会のほか、地域の皆さんとの意見交換会を開催し、津有区の活性化に向け取り組んできました。

(地域協議会の開催回数40回／町内会長との意見交換3回／地域協議会だよりの発行12回)

※R6.3.6 時点

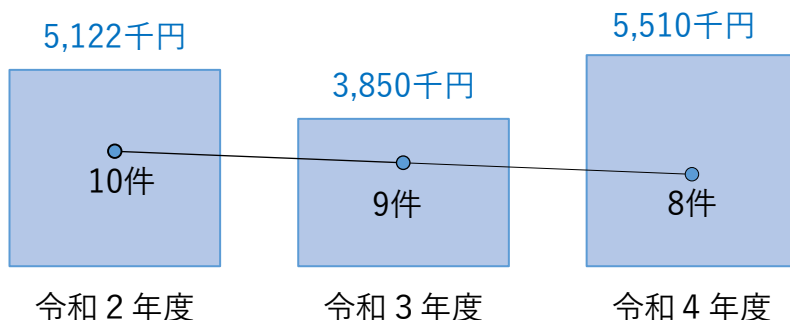
#### 2 諮問・答申

諮問・答申とは、市長が政策判断の参考にするため、特定の案件について、住民生活に及ぼす影響の観点から、地域協議会に意見を聞くものです。

津有区では、「新市建設計画の変更について」の諮問が1件あり、協議の結果、津有区の住民生活に影響はないと判断し「支障なし」と答申しました。

#### 3 地域活動支援事業の審査

地域活動支援事業とは、地域の課題解決や活力向上に向けた地域活動に対して、必要な経費を補助する制度です。津有区には毎年590万円の予算が配分され、その範囲内で地域協議会が審査を行ってきました。



■ 採択金額 ● 採択件数



## 4 自主的審議事項

自主的審議とは、自分たちでテーマを決めて地域の課題や活性化などについて話し合うことです。津有区では、次の2つのテーマについて話し合ってきました。

### テーマ1

#### 津有区の特長を生かした地域活性化について

少子高齢化や人口減少に伴う課題は多くありますが、なかなか地域協議会で解決できる問題ではありません。「課題に目を向けるばかりではなく、良いところを伸ばす活動をしてみてはどうか」という委員の発案から、前島密翁をはじめとした地域の良さに注目することにしました。

#### 前島密を知る活動（R3.7頃～）

前島記念館の利根川館長を講師に招き、前島密翁の生い立ちや功績などについて学びました。自らの功績を多く語らず謙虚で真面目な性格や、お酒好きのエピソードのほか、小学校に多額の寄付をしていたことなど、とても興味深いお話を伺いました。



そのほか、区内の小中学校を訪問し、各校に所蔵されている直筆の書や資料を拝見したり、前島密翁に関わる様々なイベントや行事に積極的に参加したりしました。

#### 津有区の良さを再認識できるパンフレット作成を目標に（R3.9）

郵便事業だけではなく幅広い功績を残していたことを初めて知った委員も多く、このことを津有の人にもっと知ってほしいと感じたことから、前島密翁のパンフレットを作って津有区の皆さんに広く知ってもらうことを最終目標にしました。



#### 前島密翁関係団体との情報交換（R4.1）

市内で活動している前島密翁の関係団体の皆さんとも情報交換をしながら進めてきました。

#### パンフレット作成に向けた準備（R4.4～）

令和4年度からは具体的にパンフレットの内容を検討するため、地域の関係者の皆さんを招き、意見交換を行うなど、準備を進めてきました。

予算の面では、新たに始まった市の「地域独自の予算」を活用することとし、地域協議会提案の事業として予算化されました。

#### パンフレット作成委員会の立ち上げ（R5.4～）

令和5年度からは、地域協議会委員のほか、津有地区地域づくり協議会、小中学校の校長、前島記念館の館長など、9団体19名からなるパンフレット作成委員会を立ち上げ、パンフレット作成に取り組みました。各メンバーの得意分野ごとにグループに分かれ、掲載内容や写真、紹介文などを検討しました。

## パンフレット完成！（R5.9）

短期間での作業でしたが、皆様のご協力により、9月にパンフレットが完成し、町内会長の皆さんを通じて、津有区の全戸へ配布させていただきました。



## バスツアーとスタンプラリーを開催（R5.10）

このパンフレットは、作って終わりではなく、パンフレットを通じて津有をもっと知っていただき、愛着を持ってもらいたいということから、津有を巡るバスツアーとスタンプラリーも企画しました。

バスツアーは、11/18、19の土日で開催し、参加者の皆さんからは大変好評をいただきました。スタンプラリーは現在も開催中です。ぜひご参加ください。



## テーマ2

### 戸野目小学校における下校時の路線バス待ち時間の解消について

戸野目小学校の荒屋方面および四辻町方面の児童は、路線バスによる通学を行っていますが、下校に利用する、丁度よい時間帯のバスがなく、1時間以上の待ち時間が発生しています。この件について、津有北部振興会から地域の課題として相談があり、地域協議会としても取り上げることとしました。



### 意見書の提出（R6.2）

審議の結果、解決策として、諏訪小学校との統合に伴い導入される見込みのスクールバスを有効活用し、児童の待ち時間を解消するよう、市へ意見書を提出しました。

意見書とは、地域協議会で話し合った内容について、市長へ意見として伝えることができる、地域協議会の役割の一つです。

子供たちや教職員の負担が少しでも軽減されるよう、願っています。

## 5 地域活性化の方向性

地域活性化の方向性とは、市内28区の地域協議会で作成している地域活性化に向けたスローガンのようなものです。津有区では、地区アンケートを実施し、その分析をもとに作成しました。

### 住民アンケートの実施

令和5年2月から3月にかけて実施したアンケートは、全1,647世帯のうち893世帯（約54%）から回答をいただくことができました。集計結果は、地域協議会だより第73号およびパンフレット「津有ってどんなところ？」に掲載しています。



## 津有区の地域活性化の方向性

### 【テーマ】

津有区の前島密をはじめとした歴史資源や自然・文化を活かし、津有区の住民が地域に誇りや愛着を持てる地域づくりを目指していきます。

### 【構成要素】

(歴史) 前島密をはじめとした歴史・文化の発信と活用

(自然) 豊かな自然や景観の保全

(交流) 地域住民の交流による支援・協力体制

(若年層) 子育てを中心とした若年世代の暮らしやすさ

(高齢者) 高齢者の日常生活や生きがいの支援

(整備) 歴史・文化を残しながら暮らしやすい環境整備

## 当日の意見交換の様子

活動報告会当日には、大勢の方から参加いただきありがとうございました。参加者の皆さんとの意見交換の様子を一部抜粋してお知らせします。



4年間活動した中で、やってよかった、あるいはこれは参ったという感想があれば聞きたい。

藤本孝昭会長

「なかなかゴールが見えない不安はあったが、津有区や前島密のことを深く学ぶことができたことが、一番の宝物になった。」

中島功副会長

「パンフレット作りを通じて、改めて地域を見つめ直すことができた。特にバスツアーでは初めて津有をぐるっと回ることができ、やっていてよかったと思った。」



〈中島副会長〉

他の地区との連携も検討してはどうか。

藤本孝昭会長

「他の地域協議会の会長とお互いの地区の活動や課題を情報交換する機会が何度かあった。ただ、そこで止まっていることが実態。市全体で検討していただく必要もあるが、私たちとしてもお隣の諏訪区や高士区との連携は検討していくべき内容だと思う。」

〈藤本会長〉

今期の地域協議会の任期は終了しますが、委員一同、津有区の活性化を願っておりますので、今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### お問い合わせ先

上越市 中部まちづくりセンター（上越市木田 1-1-3 木田第一庁舎 3階）  
TEL：526-1690 / FAX：526-8363 / E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

